

第2回中野市学校給食センター運営委員会会議録 要旨

開催日時 令和2年2月7日(金) 午後4時00分から5時10分

開催場所 中野市南部学校給食センター 2階会議室

出席者

(委員)

竹節幸子委員、村島康秋委員、神田久仁玲委員、竹内洋子委員、丸山大輔委員、池田幸江委員、依田隆生委員、有賀泰司委員、北山和夫委員、西澤富美子委員、武田美穂委員

(事務局 市教育委員会)

花岡教育次長、徳竹所長、春原主任主事、高橋栄養教諭、江澤栄養教諭、小林栄養教諭、丸山栄養教諭

遅刻者 渡邊雅子委員

欠席者 小嶋教育長

会議内容

- 1 開会 花岡教育次長
(資格審査報告) 委員12名中、出席者 11名
(運営委員会条例第5条第2項の規定により、出席委員が過半数を上回っているため、運営委員会が成立)

- 2 あいさつ 花岡教育次長(教育長代理)

3 報告事項

- (1) 令和元年度学校給食センターの運営状況について

令和元年度学校給食センターにおける食育の現状(P1 資料1)

栄養教諭が資料に基づき説明

- ・令和元年12月末までに行った食育活動を各センターごとに説明

令和元年度中野市産主要農産物使用量(P2 資料2)

徳竹所長が資料に基づき説明

- ・学校給食で使用された中野市産の主要農産物の使用率について説明

(令和元年 12 月末現在の数値)

・市内産使用率：65.6%であり、目標値を上回っているが、冬は市内産が少なくなってしまうため、年度末には若干使用率が下がると思われる。

年度別食物アレルギー対応状況（P 3 資料 3）

徳竹所長が資料に基づき説明

- ・平成 23 年度から令和元年 12 月末現在までのアレルギー対応状況を記載している。
- ・現在、来年度に向けて食物アレルギーの個別の懇談を各センターごと進めている。

(令和元年度学校給食センターの運営状況における質疑)

委員：食の指導に関して「朝ごはんを食べよう」という話は、親に対しても話しているのでしょうか。それとも子供に対してだけ話しているのでしょうか。

事務局：学校の試食会で保護者の方が来られたときには、朝ごはんの話は、必ずさせていただくようにしています。また、センターで親子給食がある場合にも、保護者には直接話をしています。

事務局：毎月 1 ヶ月の献立表を給食センターから保護者に送るときに、食育などの情報を提供する機会があり、その中で朝食を含めた子供の健康、栄養などの情報を保護者に伝えています。

会長：細かいところまでは各家庭に踏み込めないという中で、給食センターから家庭の方に発信していただいているようですね。

委員：生産者の会が高齢化しているということで、出荷者などが若い人達をお誘いしてると思うのですが、これについて、どういう状況なのか教えて頂きたいと思います。また、生産者園地視察は果樹園だけなのか、それとも野菜も含めた視察なのか教えてください。

事務局：J A 中野市が窓口になって、出荷者の会やふるさとファームという団体に食材を提供していただいています。委員さんのお言葉どおり、どちらも高齢化が進んでいるという話は聞いています。色々な努力はされていて、若者を増やしていこうということは各団体でしているようです。給食ということで食材の量がどうしても一定量必要ということがあり、大変な面もありますが、各団体で努力していただいている状況です。生産者園地視察については、じゃが芋、白菜、ブロッコリーなど野菜が主です。

会 長：こんなに学校と関わりがあるのだと驚いています。学校と給食センターは違う場所にあるので、どうやって繋がっているのかと思いましたが、これだけ沢山の事例がでてきて驚きました。ありがとうございました。

(2) 豊田学校給食センターの廃止に伴う北部学校給食センターとの統合について (P 4 資料 4)

徳竹所長が資料が資料に基づき説明

- ・ 前回の運営委員会以降、資料4にあるように進めている。
- ・ 北部学校給食センターの配送車を使い、実際にシュミレーションしている。時間が間に合うのかなど検証して、配送経路等確定させている。
- ・ 今までは豊田学校給食センターで炊飯していたが、各加工業者にお願いをするという事で協議を進め調整している。
- ・ 解体までの予定は記載のとおり。

(豊田学校給食センターの廃止に伴う北部学校給食センターとの統合における質疑)

委 員：豊田の学校の配送時間が11時50分とありますが、一番最後に到着する学校が11時50分ということなのでしょうか。

事務局：通常は12時過ぎの到着になりますが、一番早い学校で11時50分ということになります。

委 員：一番早い学校で50分ということですね。それから他の学校へ配送されるということになると、最後の学校は12時30分近くになるのかなと思いますが、学校は了解しているのかなと思います。学校が了解したならいいのですが、学校は分刻みで動いていると思いますし、子供達には給食をおいしく楽しく食べてほしいので、急いで食べることのないような時間帯を設定していただきたいと思います。

委 員：豊田地区の学校は、センターから距離も長いという事で、車を新しく1台購入するようになるのですか。給食が冷めるということはありませんか。

事務局：車につきましては、現在北部で3台で配送していますが、統合した後は、空いた1台を活用して配送する予定です。二重食缶で保温には努めていきたいので、給食が冷めるということはありません。

会 長：しっかりシュミレーションしていただいていると思いますので、大丈夫だと思います。

4 会議事項

(1) 中野市学校給食センターの調理業務委託について (P 5 資料5)

徳竹所長が資料に基づき説明

- ・令和2年4月から、北部学校給食センターについても南部学校給食センター同様、業務委託をすると決定した。
- ・委託をする理由は掲載のとおり。
- ・これまでの経過で10月に校長会で説明。11月の定例議会で説明。
2月5日付けで北部学校給食センター、豊田学校給食センターの配食校の保護者に通知している。
- ・南部学校給食センターの委託業務について1学期終了後、2学期終了後に業務評価を実施している。

(中野市学校給食センターの調理業務委託における質疑)

委員：調理業務委託についての、職員・保護者関係への説明が2月5日になっていますが、どうしてこんなに遅くなったのですか。

事務局：予算や、業者選定等の準備を進めていく中で、調理業務委託が実施できるかどうかの最終決定が予算が通る3月になってしまうため、ある程度準備等が確定し、明確になる時点が2月ということで、その日付になってしまいました。

委員：遅いですよね。前回の会議のときに、なるべく早くお知らせを希望しますという意見が出ていたと思いますが、それに対して先ほどの説明で3月の予算決定までうんぬんと言っているのは、意見を聞きたくないと思われても仕方がないと思うのです。この点についてはどう思われますか。調理業務委託については、9月の会議から話が出ているので、その時点で出していただいても問題はないと思うんです。

事務局：ご指摘のとおり、遅いという点については、本当に申し訳ないと思います。現時点では、先ほどの説明のとおり進めさせて頂きましたのでよろしくお願いします。

委員：ちょっとよく分かりません。一番早くてこの時期にしか通知が出せなかった理由を聞いています。

事務局：事務手続き等も含めてこの時期になってしまいました。申し訳ありませんでした。

委員：もっと遅くなるか可能性もあったということですか。

事務局：それはありません。

委 員：委託業者は決まっていますか。

事務局：委託業者については現在決まっています。

委 員：南部で委託されている岩野商会は委託期間が1年間となっていますが北部も委託業務は1年間となる予定ですか。

事務局：業者決定につきましては、1度目の入札をした後に、金額や内容等精査した上で、改めて全業者に入札をかけています。

事務局：今の質問についてですが、北部も南部も同じ給食の業務をしているということから両方を一括で業者に委託する予定で、年限については今年度同様、契約期間は1年と予定しています。

委 員：今まで南部で市の職員として働いていた方が、何パーセントくらい岩野商会の職員として働いているのですか。また、来年度の調理業務委託について、北部と豊田に説明したときの職員の声や現場の声があったら教えてください。

事務局：現在、南部に勤めている方については、8割、9割近くの方がそのまま残るということになりました。北部については、業者には、希望があれば極力転籍をお願いしたいという要望は出しています。また、委託における職員への説明については、業者がまだ決定していないため、どういう条件で雇用してもらえるかなど不明な点があり、調理員の方もどうするか決められないという状況です。

委 員：南部では嘱託・臨時職員の9割くらいが岩野商会で働いているということを知って、そんなにおられるのはありがたいと思います。あと、正規職員は南部、北部が委託されればどこかに配置換えになるのですか。

事務局：どこに配属になるということは、人事に関わる事なので申し上げられませんが、市の職員としての立場で異動になると思います。

委 員：今年度、学校給食の関係で栄養士を募集していますが、この募集についてはどういう意味で募集しているのですか。学校給食に力を入れているから、市で独自に加配して職員の募集になったのですか。

事務局：現在は、市費の栄養士2名が、各センターで食物アレルギーの調理、献立、事務等をしております。来年度は会計年度任用職員制度になるので、給食センターに限らず市で雇用している臨時・嘱託という立場の方については、改めて採用試験を受けていただくということになります。栄養士についても、食物アレルギーの仕事をしていただくということで、募集をかけました。

委 員：ありがとうございました。

委員：調理業務委託についての保護者への報告で、前回の会議で早めの説明をしてくださいということをお願いしたにも関わらず、こうして報告が遅くなってしまったことについては、せっかく委員会で集まっている中で発言させていただいていますので、その発言が生かされないのであれば、この会議がただ集まって発言するだけの場になってしまい、あまり意味がないと思います。前回、南部の時には地元の小学校含め近隣の小学校の保護者の方から、クレームというほどではないですが意見が出てきて、私も戸惑ったということを経験、進言させていただきました。そのことが、あまり生かされていません。やはり給食費を払っているわけですから、保護者というのは一番重要な存在だと思います。給食センターを運営する中で、保護者のことが一番最後になっているというのは、納得がいきません。ここが一番大事なのに、おろそかにされているというのは、PTAの立場としても、大事にしたいと思っています。私も会社員なので、複雑な部分があるというのは理解できますが、ここまできてしまった以上は、今後の説明をしっかりとさせていただいて、前回のようなことにはならないようにしてください。私のようなところに話はこないように丁寧な説明をして頂ければと思います。よろしくをお願いします。

事務局：今、お二人からいただいた、保護者の皆さんへの通知が遅いというご意見や、保護者を一番最後にしているのはおかしいというご意見については、確かにそのとおりです。ここはもうお詫びするしかありません。今後、どのような形でできるかということはあると思いますが、できる限りの説明をしていけるようにしたいと思います。例えば、今後何かの形で保護者へ通知を出すというようなことがあれば、そこは機会があるごとにやっていきたいと思っています。遅くなったことはお詫びするしかありません。本当に申し訳ありません。

委員：南部のときは紙面ばかりの説明だったので、口頭で説明される場があればという声もあります。

事務局：文章だけではなくてですか。

委員：そうです。文章だけだと、一方的すぎるという意見もあったので、委託業者が決まったら、こういう経緯で決まって、どれくらい今の職員が移行してということを説明会を開いて、その場で質問を受け付けていただけるような形だと一方通行じゃない感じがします。検討して頂ければと思います。

事務局：この時期になって、保護者の方に面と向かって説明できるか場を設け

ることができるかどうかはありますが、確かにおっしゃるとおりなご意見をお持ちの保護者の方もいらっしゃると思います。本当にそれが今できるかどうかお答えできませんが、そういうご意見があったということで、今後、何かの形でしっかり活かしていきたいと思います。

(2) 令和2年度学校給食センターの主食回数並びに規格の変更等について
(P 7 資料6)

栄養教諭が資料に基づき説明

- ・パンの主食回数が多いことで食塩相当量が過剰になってしまうということで回数の見直しについて検討した。
- ・主食パンの回数を週1回とすることで献立の組み合わせでの塩分の減塩が可能になる。
- ・主食の量について今までより細かく、学年毎の摂取基準の充足が可能となるよう適切な量を検討している。
- ・献立の組み合わせで子供達に必要な栄養量を確保できるように努めていく。

徳竹所長が資料に基づき説明

- ・来年度から北部地区の学校の統合、豊田給食センターの廃止により効率的に加工業者から学校へ配送してもらえるよう(2)に記載のとおり変更。
- ・パンの提供日が1日になるので、加工業者の機械の都合もあり、南部は火曜日、北部は木曜日となる。延徳小学校については協議中。

(令和2年度学校給食センターの主食回数並びに規格の変更等における質疑)

委員：9月に米飯とパン食の回数の説明はいただいたのですが、来年度についても今までと給食費が同じなのでしょうか。

事務局：今回の主食の回数規格の変更に関しては、それに伴う給食費の変更はありません。前回の説明では、牛乳やパンなど価格の上昇がある中で、しっかりと決められた栄養価が子供達にいくためには、給食費の変更についても今後考えていきたいと説明しましたが、来年度に給食費をあげるということはありませんので、ご理解いただきたいと思います。

委員：給食費を抑えていただいているのはとてもありがたいことだと思いますが、一方で生産者の会などの納入価格を下げることがないように、生産者が悲しくないような金額でお願いしたいと思います。

会 長：予定していた部分が終わりました。せっかく来ていただいたので発言していない方一言ずつ、要望や感想、また専門的なご意見等頂ければと思います。

委 員：今はノロウィルスが流行する時期ですので、調理従事者の方の健康管理について、少しでも体調悪い方は調理業務に従事させないということ徹底して、引き続き手洗い等をよろしくお願いします。

委 員：業務委託について、資料に業務評価を実施したと載っていますが、3月が終わった時点でどんな評価をしたのか、また費用対効果はどうだったのか聞かせていただければありがたいと思います。

会 長：まとめて明らかにする必要はありますね。

事務局：皆様にもご心配いただいておりますが、経験が無い業者でありましたが引継ぎ等の中で、栄養教諭の先生方にもご指導いただく中でいろいろな改善を業者の方にもしていただきながら、今日まで進めて頂きました。

事務局：今のご質問は、今年度の南部の評価を皆様方に報告してもらいたいということですね。それはそのようにさせて頂ければと思います。

委 員：子供の頃から塩分控えめだと、年をとっても塩分控えめの食事になります。やはり、年をとってからだと体の中に塩分がたまってしまうので、子供のうちから塩分に気を付けてもらっているのは、ありがとうございます。

会 長：給食の意味は大きいという事ですね。

委 員：これまでは、給食センターがこういう計画を立てていることも分からずに会議に出させてもらっていたので、すごく嬉しいと思います。息子が小学校3年生のときに、センターに初めて来たときも、学校の給食を体験したのですが、そのときにノロウィルスのことを聞いて、給食は持ち帰り禁止ということだったので、やはりパンよりご飯の方がうちは嬉しいです。子供達が自分で食べられる分だけ取って、あとはパレットに入れて返すというのも、すぐ処分してしまうのも、もったいないと思うのでやはりご飯の方がすごく有り難いと思います。今日、この会議に出られて良かったと思っています。ありがとうございます。

委 員：自分の子供が何年か前に南部給食センターで職場体験をさせていただ

きましたが、そのときは配送車に乗って給食も配らせてもらったということで、楽しい2日間だったと聞いています。来年中学2年生になる子供も、行きたいと言っています。子供の頃は違う市だったのですが、給食はすごく楽しい思い出として残っています。ありがたい事にうちの子供達も給食が大好きで、残りがあればうちの子供のところにくる状況です。なるべく残さないようにみんなで食べられればいいと思います。給食が辛い思い出にならないように、より一層の努力をして頂ければと思います。よろしくをお願いします。

委員：学校の現場にいと、給食は子供達の楽しみであったり、中にはちょっと苦手という子もいますがクラスの中でうまく食べているので、給食はとてもありがたいと感じています。先日、食物アレルギーの対応食について保護者の方と面談したのですが、みんなと同じように給食が食べられることがとても有り難いというような声を頂きました。本当に一つ一つ細かく対応して頂いて有り難いと思います。今後もよろしくをお願いします。

委員：このセンターに初めて来させていただきましたが、大変清潔なところで、このような場所で作っていたと分かってとても安心しています。学校としては、アレルギー対応についても本当に細かく対応して頂いて有り難いと思っています。給食センターが細かくアレルギー対応のことをやっていますので、学校ミスで事故を出してはいけないとすごく感じています。また、豊田給食センターがなくなるのは本当に残念ですが、食数が少ないからおいしかったというところもあるかもしれませんが、豊田の子供達に給食がまずくなったと言われないようにお願いします。

5 その他

事務局 なし

委員：配送車関係で、配送車に「南部給食センター」、「北部給食センター」と堅い文字を書くのではなく、子供達が描いた絵をラッピングできるかどうか検討というか要望というか、そういう意見があるということでお願いします。このことについては、だいぶ前に市に要望はしましたが、センターの配送車の場合には、センターから学校の配送が常に同じであり、市内のみの短時間走行であることから、効果は小さく直

ちに実施する事は難しいと返事もらっています。でも、子供達の野菜の絵とかで、にこやかになるような配送車でできないかと検討してもらいたいとおもいます。食育にもつながるのではないかと考えています。

事務局：ご意見については、どのような形でできるのかということは検討したいと思います。たとえば、中野市のPRという事ではなくて、この車は学校の子供達に給食を運ぶ車ですということを周りのドライバーに分かってもらうこともできるので、どういうやり方があるかということも含めて検討したいと思います。

会 長：子供とセンター、地域とセンターが上手に繋がっていると今回、勉強させて頂きました。ありがとうございました。

6 閉 会 午後5時10分